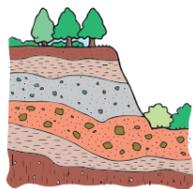


☆ごみが増え続けると、どのような問題がおこるのでしょうか？

ごみが増え続けると、次のような問題がおこります。

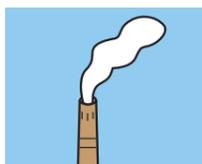
① 資源がなくなる

わたしたちの身の回りには、地球上の限りある天然の資源で作られています。この天然の資源を、このまま使い捨て続けていると、いつか取り尽くしてしまうかもしれません。



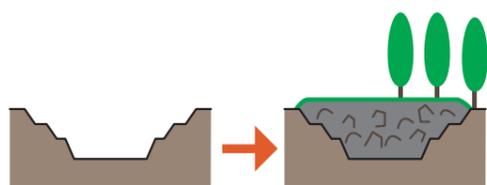
② 地球温暖化につながる

ごみが増えると、燃やす時に出る二酸化炭素も増えます。二酸化炭素は、地球温暖化の原因の1つです。



③ 埋める場所がなくなる

ごみは、管理された場所に埋められています。せまい日本で、ごみを埋める場所を新たに作るには、時間とお金がかかりとても大変です。



☆ごみを減らすためには、私たちはどうすればよいのでしょうか？

ごみを減らすためには、次の3つのとりくみ(3R)が大切です。

① Reduce: ごみを出さない工夫をしよう！

●ものを大切に使い、こわれても修理して、長く使いましょう。



② Reuse: ものをくりかえし使おう！

●洗ったり、詰め替えたりして、何度も使えるものを使いましょう。



③ Recycle: 資源として再び使えるようにしよう！

●ごみを分別して、リサイクルをやすくするとともに、リサイクルされた製品を使いましょう。



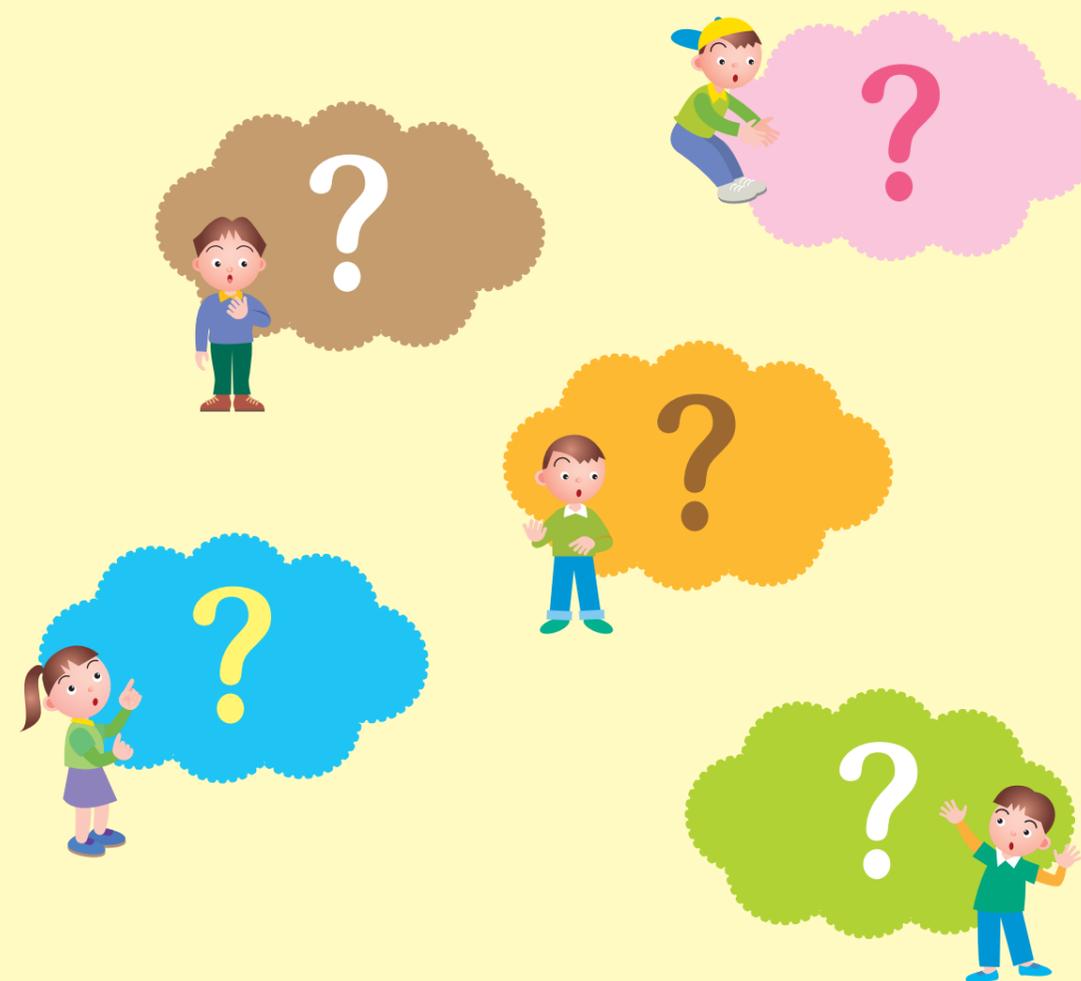
企業も、工場から出た燃えがらや製錬かす、工事現場から出たがれきなどを加工して、工事の材料として再び利用するなど、リサイクルに積極的に取り組んでいます。

ごみができるだけ少なくなるように、みんなで取り組みましょう！

島根県環境生活部環境政策課
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL (0852)22-5111(代)

【参考資料】・京都市：産業廃棄物市民啓発パンフレット
・一般社団法人 産業環境管理協会：小学生のための環境リサイクル学習HP

産業廃棄物って知ってる？



島根県

産業廃棄物（さんぎょうはいきぶつ）ということばを、聞いたことがありますか？

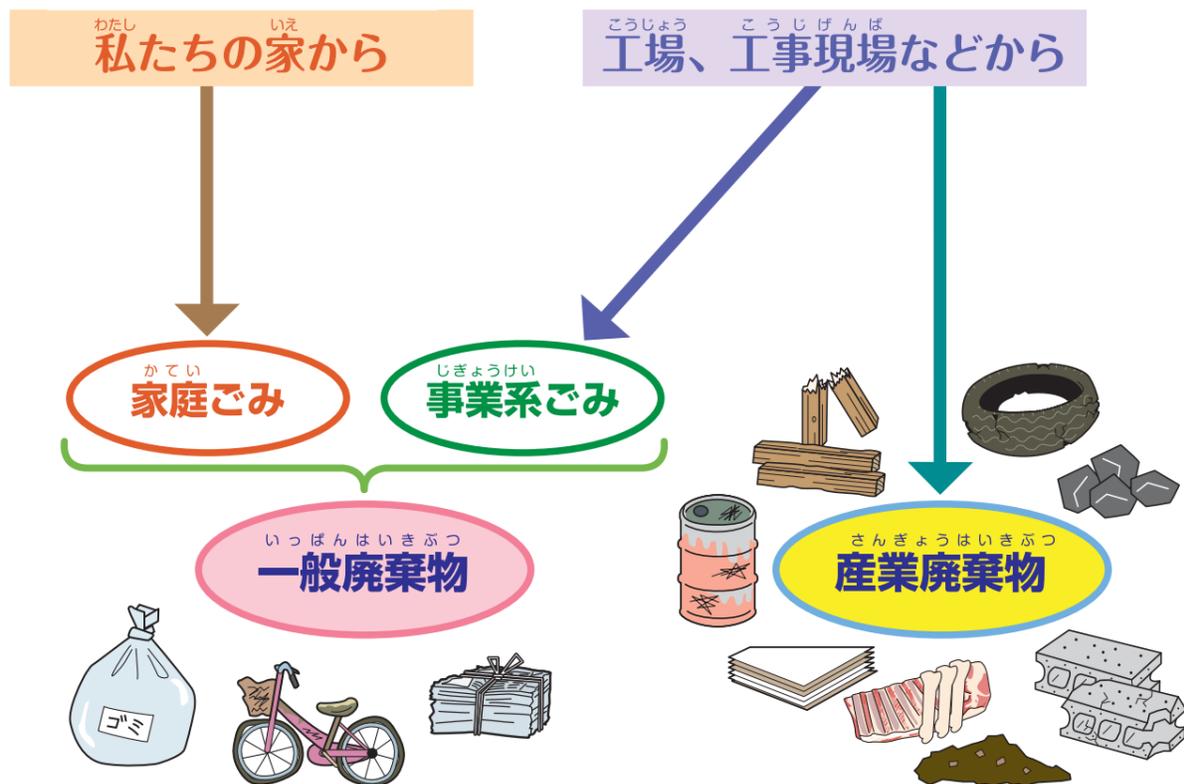
産業廃棄物（さんぎょうはいきぶつ）とは、工場や工事現場などから出るごみのことです。

★「産業廃棄物」には、どんなごみがあるの？

- タイヤ工場から出るタイヤやゴムのくず
- 木材工場から出る木くず
- 食品工場から出る肉や野菜のくず
- 製紙工場から出る紙くず
- 金属工場から出る製錬かす
(鉱石から金属を取り出すときに出るかす)
- 工事現場から出るがれき
- 農場から出る家畜のふん尿
- 下水道処理場から出る汚泥
- 火力発電所から出る石炭の燃えがら
など、法律で 20 種類のごみが産業廃棄物と決められています。



★どこから出たごみ？



ごみの流れ

家庭ごみの場合

① 決められた日時・場所に、ごみを分別して出します。



② 市町村のごみ収集車が、ごみを運びます。



③ 市町村のごみ処理施設に運ばれ処理されます。

家庭や市町村で分別された缶やペットボトル、紙パックなどは、アルミ・鉄製品、服、トイレットペーパーなどにリサイクルされています。



原料としてリサイクルできないものは、燃やされたり、埋立処分場に埋められたりします。



産業廃棄物の場合

① 産業廃棄物専門の業者さんに、連絡します。



② 産業廃棄物を運ぶことのできる専用の車が、ごみを運びます。



③ 産業廃棄物を処理することのできる専門の業者さんにより処理されます。

肥料やコンクリートなどにリサイクルされ、リサイクルできないものは、燃やされたり、埋立処分場に埋められたりします。



産業廃棄物は、家庭ごみに比べて、ごみの量がたくさん出たり、有害なものを含む可能性があることから、専門の業者さんが集めています。

産業廃棄物も家庭ごみと同じように、利用できるものは分別され、リサイクルされています。

ごみを集める

ごみを運ぶ

ごみを処理する